



バプテテスト心身障害児(者)を守る会  
**愛の手を**

第209号

発行責任者  
 社会福祉法人 バプテテスト心身  
 障害児(者)を守る会  
 重症心身障害施設 久山療育園  
 重症児者医療センター  
 理事長 宮崎 信義  
 編集責任者 鍋山 泰三  
 福岡県糟屋郡久山町大字久原 1869  
 ☎(092)976-2281  
 FAX (092)976-2172

私は、九州バプテスト神学校で2002年4月から2006年3月まで4年間学びました。当時は、福岡市中央区鳥飼の鳥飼バプテスト教会で授業が行われていました。九州バプテスト神学校のスクーリングが久山療育園で2003年7月にあり、私は初めて重症心身障害児と接し、驚きました。そして、久山療育園と今後どのように関わっていくのだろうか?と考えましたが、土曜日も仕事があり日曜日は主日礼拝と、久山療育園とは当時は関わる事ができませんでした。久山療育園は1975年に社会福祉法人「バプテスト心身障害児(者)を守る会」として厚生省の認可を受け、12月「重症心身障害児施設 久山療育園」を着工し、1976年6月7日、定礎式を行い「神は愛である」(ヨハネの手紙1章8節)と書かれた礎石を正面玄関に設置しました。卒業論文「共に生きる神学に関する一考察・久山療育園の働きから」の中より一部転記します。指導教授は川野直人先生でした。ヨハネによる福音書9章1節からのイエスが生まれつきの盲人を

いやす箇所て弟子がイエスに「ラビ、この人が生まれつき目が見えないのは、だれが罪を犯したのですか。本人ですか。それとも両親ですか。」と尋ねた時、イエスは「本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。わたしたちは、わたしをお遣わしになった方の業を、まだ日のあるうちに行わなければならぬ。だれも働くことのできない夜が来る。わたしは、世にいる間、世の光である。」と答えられた。障害者の障害は、神の業が障害でその人に現れているのです。イエスは、その人の上に素晴らしい神の御業が現れるのだと言う。そういう見方で重症の障害を持つている人たちを見ていくことができるといふことは、これは180度の考え方の転換をイエスが要求しているのです。今後、日本の社会は凄まじい勢いで福祉型社会に突入していく。高齢化問題、施設福祉から地域福祉へ、障害者のノーマライゼーション問題等、社会機構の激変の中で、教会は個人の魂の救済と平安に留まり続けていていいのか、そのような問いが投げかけられていく。更に、神によって創られ、生かされている人間の「いのち」の尊厳が侵されようとしている。遺伝子治療、クローン生物、人工授精問題等、私達は旧約聖書の創世記の物語から科学的バベルの塔を今や人類は築こうとしているのではないかとすら恐れを感じる。キリスト教は、これらの問題にいつまでも沈黙していいのか、我々が預かって「いのち」は、神が人間に顔と顔を向かい合わせ、その鼻から命の息を吹き込むという在り方で神の肖像を与えられた、かけがえない存在として地上に送り出されたものである。障害者も、いのちの尊厳においては、かけがえない存在、むしろ神の国の民のモデルとして、主イエスは認めておられます。教会においてもキリスト教社会福祉は、有志のボランティアの課題に留まらず、むしろ教会の宣教のフロントとして位置付けるデアコニアの業であることを再確認したい。デアコニアは、ルカによる福音書10章37節の「あなたも行って同じようにしなさい。」という主イエスの命令に基づいています。身体的あるいは精神的に障害を負っている者の存在は、決して神の創造の手抜きとか、失敗、不完全などではなく、創造の冠としての人間の創造にあつて神の栄光をあらわす器として完全なものであった。

重症心身障害児施設久山療育園との出会いと  
 私の九州バプテスト神学校卒業論文

監事／福岡南キリスト教会伝道師 柴田 公文



「バプテスト社会福祉事業団体連絡協議会理事会」

久山療育園 理事長 宮崎信義

はじめに

プロテスタントのバプテスト教会に所属する社会福祉事業団体(「障がい福祉」「児童福祉」「高齢者福祉」)で構成される「バプテスト社会福祉事業団体連絡協議会理事会」(略称「バ福協」)の第42回理事会が、2022年8月1日(月)にオンライン(Zoom)で開催されました。構成する事業体は、「バプテスト心身障害児(者)を守る会」(久山療育園重症児者医療療育センター)、「バプテストめぐみ会」(北白川いずみ保育園、特別養護老人ホーム・バプテストホーム)、「キリスト者奉仕会」(大牟田恵愛園、恵愛ワークセンター、障害者生活支援センター「ハーツ」など)、「相愛会」(相愛保育園など)、「しんもり福祉会」(平和の子保育園)、「福岡白百合会」です。共にある対象者は様々ですが、キリスト教社会福祉の研修会や学び合うことが多い協議会です。毎年8月に1泊して研修会が続けられてい

協議内容及び近況報告

前回理事会議事録(2022年3月14日)承認及び2021年度会計報告で承認されました。協議後に勉強会を行っています。2023年3月理事会後の勉強会のテーマは「法人・施設の設立理念の継承と人材育成」です。

近況報告及び話題提供

- ①久山療育園「近況報告」
- (1)2022年度年間主題「重症児(者)医療福祉計画の継続・安全安心と更なる進展に」
- (2)開園祭テーマ「重症児(者)と共に健康と生活の質の豊かさ」
- (3)2022年度の事業計画「在宅支援プロジェクト」から

次の課題と将来展望、西日本施設協議会2023担当施設としての役割、

- (4)次世代を担うに足る人材活用と育成。
- 「話題提供」

- (1)BCP(事業継続計画)の骨子は「新型コロナウイルス感染症対策」と「防災(大地震等)」
- (2)新型コロナウイルス感染症対策を細密に。COVID-19の感染者が久山療育園内において発生した場合においても、サービス提供を継続できる体制を構築するとともに、平時においても有事に機敏、かつ的確に対応できる準備を整える。基本方針として、利用者の感染防止に努める、職員の感染防止に努める、医療療育など久山療育園としての事業の継続に努め、万が一感染者が発生した場合も感染の拡大防止に努める等です。

- ②キリスト者奉仕会「近況報告」
- (1)地域の住まいの場(グループホーム)の展開(4月グループホーム亀谷の開設、2023年9月グループホーム三池(仮称)開所予定)。
- (2)就労支援の展開(共同作業場・国立国会図書館デジタル

化事業、就労困難者訓練支援モデル事業)障がい者の就労移行支援)

- (3)新型コロナウイルスへの対応・利用者・職員の罹患状況・利用者・職員にも感染者あり。
- 「話題提供」

- (1)法人リーダー研修会・業務としての取扱、
- (2)太陽光発電、
- (3)レポート報告会(法人の歴史と現状・今後に向けて、障害者権利条約、福祉と人権、キリスト教社会福祉)。
- ③バプテストめぐみ会・北白川保育園「近況報告」
- 保育園の職員処遇・京都市の補助金プール制が終了し、市から保育園ごとに助成(人件費など)されている。
- ④バプテストめぐみ会・バプテストホーム「近況報告」
- (1)新型コロナウイルス感染症対策・利用者や職員から陽性者ありゾーニングを実施、
- (2)処遇改善加算に対応している。10月から新規の加算。

おわりに

以上のような協議や学習会が行われています。地道な事業ですが、いずれの事業体も①利用者と共に、②聖書に示

される働きが用いられることを、聴きかつ実践に反映したいと願っています。



病氣からだの  
第13回

# 「気管支喘息」

センター長／理事 岩 永 知 秋

■喘息とは「あえぐ息」の意味です

皆さん、喘息(ぜんそく)ってご存じですか？この2文字は息があえぐ、という意味です。多くは急に息が苦しくなる「発作」として起こり、横になつていることができず座つた姿勢であえぐように、息を絞り出すように呼吸します。ひどいと「ゼーゼーヒューヒュー」という音が出ますが、これを喘鳴(ぜんめい)と呼んでいます。この音は狭くなつた気管支を無理やり空気が通るとき生じるもので、最初は息を吐きだす(呼気)とき、ひどくなる息を吸う(吸気)ときにも聞こえるようになります。この音が大きくなると、本人だけでなく、周りの人にも聞こえるようになります。この苦しさは体験した人にしかわからないかもしれません。

なぜこの音が生じるのでしょうか。なんでもいいですがびんの口に唇を当て、フーツと吹くと音が出ますね。びんの口や首が細い時にしかこの音は出ず、広口びんでは出ません。ふだんは音の聞こえないからこの音が聞こえるという事は、気管支がとても狭くなつていゝことを表わしています。正常な呼吸でも気管支は息を吸うときに膨らみ、息を吐くときに狭くなるので、喘息の喘鳴はまず息を吐くときに聞こえるようになります。ここで、喘鳴は心臓が悪い時(心不全)にも聞こえることがあるので、心臓と区別して正確には「気管支」喘息といゝます。

■「咳喘息(せきぜんそく)」喘鳴(ゼーゼーヒューヒュー)のない喘息

喘息はすでに述べたように喘鳴を伴うのが典型ですが、喘鳴があまりなく主に咳だけが出る喘息があります。これを咳喘息と言います。喘鳴を示す喘息とは病変のある気管支の部位が少し異なる可能性がありまゝ。ちなみに私は子供のころからの喘息持ち(軽症

で定期的な治療はしていません)ですが、こどもの頃は喘鳴があつたものの、大人になつて年に1〜2回出る症状は咳がほとんどになりました。症状は異なりますが、咳喘息も病気の本体は喘鳴のある喘息と同じですし、治療も変わりません。

■喘息の発作はいつ出やすいか？

このような喘息の発作には特徴があります。発作が出やすい時があるのです。まず1日の中で出やすい時間帯は、夜間から早朝にかけての時間です。また、1年の中で出やすい時期は、春や秋など季節の変わり目です。人によつてははじめじめした梅雨の時期や、台風や低気圧が近づいていゝときなどの場合もありまゝ。私は毎週火曜日に元の所属の国立病院機構福岡病院で外来診療を行つていますが、患者さんの中には天気予報を聞かなくても、自分の症状で低気圧が来ているのを予想できる人がいます。

■アレルギーと喘息

子供のころから喘息がある人の多くはアレルギーによるものです。アレルギーとはア

レルゲンと呼ばれる蛋白質に対して、からだの中に特別な抗体(IgE)という即時型アレルギー抗体)ができ、再びアレルギーが体内に入つてきたときにそれと強く反応します。その結果、身体に悪い物質が細胞から放出され、アレルギー症状が出るというわけです。アレルギーの代表はハウスダスト(その大部分はイエダニ)です。これに対して過敏な人が多く見られます。喘息のほかアトピー性皮膚炎、アレルギー性皮膚炎、花粉症、アトピー性結膜炎などのアレルギーが知られており、人によつてはこれらのうち2つないしそれ以上を持つ人もいます。また、親や兄弟、こどもさんにもアレルギー疾患を持つ人が多く見られます。アレルギーがあるかどうかを調べる検査には、血液検査でIgE抗体量を測定したり、皮膚テストで過敏なアレルギーを調べたりする検査などがあります。

■喘息の原因はアレルギーだけではありまゝ

大人になつてから現れる喘息の多くは、アレルギーとは違つた仕組みで起こりまゝ。感冒などのかぜウイルス感染症、大気汚染などによるもの

は、上皮性サイトカインと呼ばれる物質が関係し、自然免疫と呼ばれる仕組みが働きます。またそのほかの、まだよく解明されていない仕組みで起こる喘息もあります。いずれにしても大人になつて初めて出てくる喘息の多くは、小児喘息のアレルギーとは異なる仕組みによるものが多いのです。

■喘息の治療は大きく変わった

約30年以上前から喘息の治療は大きく変わりました。それまでの治療は狭くなつた気管支を広げる治療薬が主体でした。これを気管支拡張薬と言います。しかしさまざまな研究により、このとき気管支の粘膜には特殊な炎症が起つており、これによつて気管支が過敏になつて、気管支を狭める発作が起こるといゝうストーリーがわかつたので、特殊な炎症とは好酸球と呼ばれる白血球による炎症です。これはアレルギーが原因の喘息も、アレルギーとは違ゝうメカニズムで起こる大人の喘息も、多くの場合共通する内容の炎症です。この解明によつて、喘息の治療は革命的に変わりました。吸入ステロイド薬という、この特殊な炎

症を抑える薬が主役に躍り出たのです。今では喘息治療の世界標準となりました。

## ■吸入ステロイド薬が治療の役割

ステロイド薬と聞くと少し身構える方もいるかもしれません。炎症を抑える薬、免疫を抑える薬として昔から有名で、いろいろな病気に対して使われてきました。それともいろいろな副作用も知られており、それをこわいと思う人も多いでしょう。これは大量を長期間、しかも飲み薬や注射で使用したときに出やすい副作用です。しかし喘息で使うのは吸入薬です。飲み薬や注射薬として用いる量の10分の1以下の量です。また、飲み薬は胃腸から吸収されていったん血液の中に入り、体じゅうにもたらされます。注射薬はそのまま血液をめぐるままね。これに対して吸入薬は、直接効果が出てほしい気管支に届きますし、気管支の粘膜から吸収され血液に入る量も微量です。以上のことから吸入ステロイド薬はステロイドとしての副作用が出にくく、また効果がでてほしい気管支に直接到達するという利点があります。

## ■配合薬の登場

喘息の治療は基本的に吸入ステロイド薬を欠かすことができません。なぜなら、喘息の本体である好酸球性炎症をしつかり抑えることができるのは、吸入ステロイド薬だからです。しかしながら、喘息の程度が強くなるにつれ、これだけでは治療が不十分になります。これらの喘息に対する現在の治療は、吸入ステロイド薬に気管支拡張薬を組み合わせで行われます。吸入用の気管支拡張薬には大きく分けて2種類がありますが、まずはベータ刺激薬が用いられます。今では吸入ステロイド薬と一緒に配合されたものが、日本では4種類発売されています。2つのくすりを一遍に吸入できる利点があります。さらにはもう一つの気管支拡張薬も混ぜて、3つ一緒に吸入できるトリプル製剤というものも最近登場しました。

## ■吸入薬としての特徴

呼吸器、特に喘息などの気管支に対する治療薬は、吸入薬が主体となります。これは他の病気が飲み薬(経口薬)である点と大きく異なります。吸入の利点は直接薬が気管支

に届くこと、ステロイド薬の副作用が少ないことです。短所としてはきちんと吸入するテクニクが必要であり、また少し手間がかかるのでつい飛ばしたり、休んだりする方がおられることです。薬局や病院で、正しい吸入のやり方について指導を受け、しっかりと継続するようにしましょう。

## ■重症の喘息に対する最新の治療

最近の分子生物学的研究は、これまで重症とされてきた一部の喘息治療に新たな光を当てました。このような重症喘息は、上に述べた吸入ステロイド薬や気管支拡張薬併用だけではコントロールが難しいのです。IgE抗体に対する抗体、あるいは好酸球を増やしたり刺激したりする物質に対して、抗体を使って行う治療などがあります。限られた症例に対しては、内視鏡を用いて気管支粘膜に熱を加える治療も登場しました。

## ■少し特殊な喘息もあります

1. アスピリン喘息(解熱鎮痛剤喘息)・・・喘息患者さんのうち10%程度に解熱鎮痛剤を服用後、重症の発作を起こすこ

とがあります。昔からアスピリン喘息と呼ばれていました。アスピリン以外のくすりや、座薬、シップ薬などでも同様のことが起こります。鼻ポリープなどの副鼻腔炎を持つ人が多く、ほとんどがおとなです。

2. 職業性喘息・・・特定の職業の人に起こる喘息で、職場環境にアレルギーの原因となる物質(アレルゲン)があるため、職場で発作が起こることが特徴です。

3. 運動誘発性喘息・・・比較的激しい運動により起こる喘息発作で、多くはこどもに見られます。乾燥した冷たい空気を大量に吸い込むことが、喘息発作の誘因となります。同じ理由で、たとえば冬季スポーツの長距離選手などに見られることがあり、アスリート喘息と呼ばれます。



# めぐみ棟より

## 「2022年度 なないろの会」

今年も敬老の集いとして、「なないろの会」が開催されました。

めぐみ棟では全員で7名の方々が皆さんから祝福されました。7名のうち2名の方は今年から入会された新メンバーです！会の後半では、新メン

バー2名の60年間のスライドで振り返りました。会場からは、「なつかしく」「若いね」などの昔を懐かしむ声がちらほら…。みんな楽しんでスライド鑑賞を行いました。



また、なないろの会では記念品として、トロフィーと共にメッセージが刻まれたリボンが贈られます。年々増えていくリボン、今年のリボンには「敬愛」というメッセージが刻まれています。

なないろの会の皆さん、これからもトロフィーのリボンをたくさん集めていきましょう！

(めぐみ棟 保育士 山田梨愛)

## 「お願い事、叶うといいな★」

2022年度の夏の催しは「七夕祭り」でした。昨年は普通の夏祭りをテーマにしましたが、今年はその間に「七夕」が加わります。保育士みんななどどうしたら七夕感が出るか、一生懸命話し合っており、ゲームの内容や装飾を準備しました。

ゲームコーナーは、ワニワニパニック・ク・りんご館ゲーム・巨大ピンボール・射的などなどを、星の飾りつけで七夕風にアレンジ！皆さんとっても楽しんで遊んでくれました！



そして今年一番の見どころは、仙台の七夕祭りをイメージした大きな七夕飾りと、皆さんのお願い事を飾っている短冊ゾーンです。笹に飾るのは違って、みんなの短冊がずらりと頭の上いっぱい広がります。自分の短冊を飾りながら、他の方のお願いごとをこっそり覗いたり、七夕飾りと写真を撮ったり…。利用者の方々はもちろん、スタッフの皆さんも笑顔いっぱい楽しんでくれていたので、保育士一同とても満足です！来年の夏の催しも楽しみにしてくださいね★

(めぐみ棟 保育士 柳有似子)



# ひかり棟より

## 「なないろの会」

9月9日。今日は待ちに待った「なないろの会」、ひかり棟からは花原さん、佐護さんが入会されました。花原さんは水色のジャケットで爽やかな衣装。佐護さんはお化粧をし、着物を身にまとい式に参加されました。お二人ともいつもとは違う雰囲気でもとてもお似合いですでしたが、少しソワソワしているようでした。

なないろの会が始まると、利用者さんや学校の先生からお祝いの言葉を貰い嬉しそうな表情を見せてくれました。大きなスクリーンで佐護さんは療育園に入所されてから、花原さんは小さい時からの思い出のスライドを病棟みんなで見賞しました。鑑賞中は懐かしい写真に利用者さんも職員も楽しく見入っていました。お二人も自分の写真をじつと見つめてどこか懐かしさを感じているようでした。佐護さんの担当をさせて頂いて、こうして記念の会と一緒に参加しお祝いできたことを嬉しく思います。改めておめでとございます。これからも健康で長生きしてください。

(ひかり棟 介護福祉士 池田七瀬)



# おめでとう



## 「新人さんいらっしゃい」

私が久山療育園に転職すると決めた時、「え、その歳で転職するの？身体大丈夫？」と周囲の人に驚かれ、心配されました。入職して5カ月が経った今、あの時心配してくれた人達に「毎日楽しく働いています」と報告しています。とはいえ、今まで勤めていた介護施設とは全く違う現場での仕事はわからない事ばかりでした。この5カ月間先輩方から指導して頂く中で、感動したことがあります。

それは、先輩方が、ただ介護方法を指導するだけではなく、どうしてこの利用者さんにはこの介護を行

うのか、という理由も明確に教えてくださることです。また、日々変化する利用者さんの状態を観察し常にどう介護すれば良いかを考え行動している姿を見ていると、私も早く追いつきたいという気持ちで一杯になります。

まだまだ学ぶことが多い未熟者ですが、いくつになっても、新しい知識や技術を習得していく事は楽しい事だと改めて感じています。これからも利用者さんが安全に楽しく毎日を過ごしていけるように頑張っていきます。

(ひかり棟 介護福祉士 竹内寛恵)



6月誕生会



Fルーム新人さんいらっしゃい

# 通所で頑張っています

## 「展示ウォークラリーに向けて」

通所では、年に一回、日々の活動を通して利用者の方々が出した作品を展示して、みんなでゆっくり見てまわる「展示ウォークラリー」を開催しています。昨年の9月に第一回目を行い、今年の9月で第二回目。8月からメインの作品作りに取り組み、日々の活動で作った小さな作品も含めた力作が揃いました。

第1療育室月曜日は、『エリック・カール作』はらぺこあおむしの絵本の世界を作品にしました。紙の卵パックで作ったカラフルなおおむし達がむしゃむしゃと食べ物を食べ、綺麗な蝶に変身します。この蝶は、ペットボトルのキャップで作られています。迫力ある蝶も必見です。



火曜日は、「フロッタージュ」という技法で、朝顔の花や葉をトントントンと叩いて紙に模様を写し出した、芸術性あふれる作品を作りました。また、花紙を使った紫陽花やスパイドを使って描いた水の模

様など、様々な手法を取り入れた魅力的な作品が勢ぞろいです。



水曜日は、「愛を込めて花束を！」をテーマに綺麗な花束を作りました。トイレットペーパーの芯を使って描いた花を、本物の花のようにラッピング。実は、ラッピングにかなり悪戦苦闘しましたが、花束を見て下さったすべての方に、たくさんの愛が届く作品です。



木曜日は、クリスマスリースを作りました。ポプリや色々な形のマカロニを一つひとつ台紙に飾り付けていきました。台紙の形もそれぞれ違って、見た目も香りも楽しめるおしゃれで豪華なクリスマスリースが完成しました。クリスマスが待ち遠しくなりますね。



金曜日は、大きな布に手形・足形アートで楓の木を描きました。一人ひとりの手形・足形が楓の葉となり、その色鮮やかな葉っぱが集まって、そびえ立つ楓の木が出来ました。ロールスポンジでグラデーショナルをつけて描いた夕焼けも素敵で、見ごたえのある秋の作品です。



第2療育室は、みのむしを作りました。細く裂いた布やテープ・紐をみのむしの体にココロと転がしながらつけていきました。おしゃれな蓑を身にまとった愛嬌あるみのむし達の表情にも注目です。

この他にも、紹介しきれない作品がたくさんあります。来週から始まる「展示ウォークラリー」、みんなで作り上げた空間をじっくり楽しみみたいと思っています。(尚、P11「ぎやらりい」では制作した作品の一部を紹介しています。そちらもご覧ください)

(通所 保育士 寺田智加子)

## 重症者ホームひさやまより

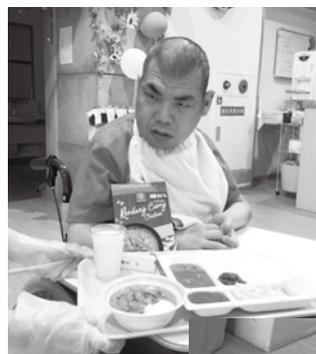
### 「開設祭」

7月12日。今日はグループホーム創設7年目の待ちに待った開設祭。

今年の飾り付けは夏の花という事で向日葵に決定！壁一面に向日葵の飾り付けと廊下には空と向日葵を連想させる「水色・黄色・緑色」の風船が彩りを添えました。

今年のお食事のテーマはカレー祭り。名店のカレーから世界のカレーまで24種類のラインナップ。皆で箱を手に取り、甘いかな？辛いかな？どんな香りかな？と選ぶ時間はドキドキのひと時。ちよつと辛くても大丈夫！ホーム特製のマンゴーラッシーとピーチラッシーがあるからね。

みんなが選んだカレーが出来上がる。ホームはスパイシーな香りに包まれてまるでカレー屋さん。自分で選んだカレーと他の方が選んだカレーの御裾分けと職員チョイスのカレーの3種類。そして明太子・カボチャ・ポテトの3種類



のサラダをワンプレートにしてハイ出来上がり。

1口1口を美味しくそうに頬張る向日葵の様な笑顔が沢山咲きました。食後のデザートはハーゲンダッツ10種類を恨みっこ無しにくじ引きで決めました。カレーの後のアイスはまた格別です。皆の笑顔が止まりません。来年こそはご家族と一緒に盛大に行いたいですね。

(重症者ホーム 保育士 原田太二)





# 「MOMO」便所

園内託児所

## 「発表会頑張りましたー！」

子ども達もこひつじ園入園から1年が経過し、保護者の方に成長した姿を見てもらいたく発表会を行いました。

1部の劇「たまごのあかちゃん」では、可愛いヒヨコさん・恐竜さんのお面をかぶり卵から一人ずつ登場です！登場する際、緊張しているかな？と思っていました。子ども達は緊張することなくお名前呼びにも「はい」と元気な声でお返事ができ、手遊びや朝の歌も「せんせいおはよう〜♪」と大きな声で歌うことができていました。また、パパやママを見つめ嬉しそうに手を振る姿も見られていました。

2部は子ども達が大好きなリトミック遊びをしました。ピアノに合わせて動物(ウサギ・ウマ・アヒル・ライオン・トンボ)の動きを体で表現します。ピアノが流れ始めると動物の動きを覚えており「ピョンピョン」「トンボだ」と楽しそうに体を動かす姿も見られていました。

3部は、親子参加のパラバルーンです。子ども達もパラバルーンに興味津々で何が始まるんだろう？と楽しみな様子で、パパやママとパラバルーンをしつかりと持ちパタパタと揺らす



(託児所 保育士 副島瑛織)

姿や、保育者とパラバルーンの中に入り「キャッキヤ」と楽しそうに風を感じる子ども達。また、パラバルーンにボールを入れ落とさないように様々な方向に動かしボールの動きを楽しみ様子も見られていました。最後は、みんなでボールのお片付け！ボールを「あった」「ここにもあるよ」と嬉しそうに見つけ上手にお片付けできていました。

発表会本番に至るまで慣れない場所での練習をしましたが、嫌がることなく楽しく練習でき、本番でも保育活動での普段通りの姿を保護者の皆様に披露することもでき、また、子ども達の笑顔や楽しそうな表情を見られて嬉しい気持ちになりました。今後様々な活動を通して、子ども達の成長を見守っていききたいと思えます。

## ミットレーベン・ネットワークより

### 「共に生きる」汗を流す。

海外ではコロナへの感染対策が低レベルに移行したところも多いようです。日本では、これまでとは対応に変化が出てきていますが、未だ収束は見通せない状況です。

今年の夏も、ワークキャンプは実施されず、3年連続して中止になりました。重症児者施設という性格上、仮に将来再開できたとしても、これまで通りというのは困難であろうと思われます。どのような形がいいのか模索が必要です。

そういう中で、今年は8月11日(木・祝日)に半日の「草刈りデイワーク」を実施しました。午前中のみでしたが、それでも一般参加者38人、職員6人、利用者1人の45人のボランティアが集まりました。正直、これだけ多くの人数が集まるとは思っていませんでした。皆さんの久山療育園に対する思いの強さを改めて確認することになりました。

簡単な説明の後、主に道路の向こう側、駐車場の場所での草刈りを行いました。この活動は「ミットレーベン・ネットワーク」の重症児者と「共に生きる」働きの一環です。辛い熱中症も出ず、汗をながすことができたことは大きな喜びでした。

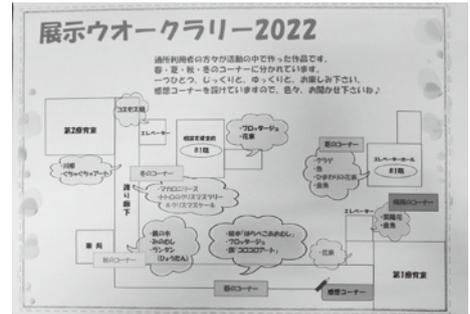


(重症児者と共に生きる「ミットレーベン・ネットワーク」会長 伊原幹治)

# ぎやらい

いざ、リーフレットを片手に「展示ウォークラリー2022」のスタートです！季節ごとに色鮮やかで創造性豊かな作品がいっぱい！「あれれっ。はらぺこあおむしがここにも」。思わず微笑んでしまいます。

通所利用者の皆さんが職員と力を合わせて制作された作品の一部をご紹介しますのでお楽しみください。



はらぺこあおむしの世界へようこそ！



ペットボトルのキャップで作りました♪



あおむしくんもお花をジューツ



かわいいみのむし…み～つけた！！



花言葉も添えてありますよ  
愛を込めて花束を…♡



コスモスや楓が鮮やかに咲いています



クラゲや魚…ぶかぶか浮かぶ



とってもかわいい  
まっくるくるすけの  
ツリー



おしゃれなマカロニ  
リースのツリーです



## 2022年開園祭

前号でご案内しましたように、今年の「第46回開園祭」もまた、感染対策の観点からバザーや公開療育・ふれあい等を中止せざるを得ず、9月23日(金・祝)13時30分から、地域交流ホールにおいて、ボランティア、永年勤続職員、保護者会への感謝を中心とした「感謝礼拝」が開催されました。

限られた集いではありましたが、来年こそは利用者、保護者、ボランティア、職員が皆マスクを外し笑顔で集える「開園祭」を開催できることを願っています。



### ボランティア 表彰者

(500時間)

仲田京子 様

ご都合により欠席でしたが、会場からは温かい拍手が送られました。

### 永年勤続職員 表彰者

(敬称略/五十音順)

20年 藤壽美子、山野祥子、  
吉村優貴

15年 藤島信也

10年 大重佐和子、小林りり子、  
土居慎太郎、長澤涼子、  
前田宏美、村上和美

5年 犬塚美樹、岡村典昭、  
河本武美、久芳千鶴、  
下藤紗妃、多久島真理子、  
田渕友和、橋本治光、  
穂坂綾子、松本利華、  
村上貴紀、吉田規子、  
脇山美月



職員を代表して藤壽美子さんへ表彰状贈呈

### 保護者会献品 謝辞



献品頂いた「つるべ」と付属のスリングシート」は移乗介助の際に使用させていただいています。

### 勤続表彰者の声

#### 勤続20年

思い起こせば入職の日の朝、「笑顔を絶やさず、楽しく仕事をしてくきたい。」と挨拶させていただいてから、20年が過ぎました。

明日は自分の身に何が起こるか予測出来ない、そのような世の中で、勤続20年の目を迎えられたのは奇跡的であり、かつそれは決して自分一人の力だけではなく、目に見えない多くの人々からのお導きがあつてこそだと、改めて感じさせられました。常に「ありがとう」との感謝の気持ちを忘れずにいたいです。

自分を支えてくださった久山療育園にどの様な「恩返し」が出来るだろうか、そして頑張った自分へのご褒美は何にしようか、模索中であります。

(薬局 薬剤課主任  
藤壽美子)

重症心身障害児者との出会いは、看護学校への入学がきっかけでした。約2年間、重症心身障害児者施設で起床か

ら朝食介助し学校へ通い、放課後は夕食介助から就寝まで、そして休みの日は1日働いている中で、重症心身障害児者施設で働きたいと思うようになりました。

なかなか縁が無く、漸く2001年に久山療育園に入職できました。めぐみ棟、ひかり棟、通所・外来のお仕事をさせていただきました。あつという間の20年間でしたが、思い出話を始めると与えられた枠では収まりません。

大きな出来事では、建物も変わり、電子カルテが導入されたことです。その中で変わらないものは「利用者さんの笑顔と生きる力、保護者のやさしさ」と、我が子に対する思いであり、コロナ禍でより強く感じています。

微力ではありますが、今後もスタッフと力を合わせて利用者さんの生活を支えていきたいです。

(めぐみ棟 看護師長  
山野祥子)

私は日本バプテスト病院での経験を経て、看護観と理念が同じという理由で就職しました。





藤田 英彦

今年の『第46回開園祭』は、「コロナ禍にあっても、主の計画は永遠に存続する」がテーマであっただけに、「感謝礼拝」のみとなったのは本当に残念です。

去る7月8日、参議院選挙投票日の前々日、元海上自衛隊下士官山上徹也により、安倍晋三元首相が自民党の候補者の応援演説中に背後から襲撃死去された。マスクミは選挙前々日でもあり、一斉に「民主主義に対する許されざる暴力行為」と報道。選挙は、自民党保守政権の圧倒的勝利となり、気を良くした岸田総理は、矢継ぎ早に大幅予算の組み立てと、5億円を超える「防衛費」計上を打ち出し、更に国会の議を経ることなく「閣僚会議」で「安倍晋三元首相の国葬」を決定する。「憲法違反」である。その後、殺害犯山上徹也は「母親が文鮮明の「統一教会」に

取りつかれ、総額2億円以上を献金と称して差し出し、会社経営の父親は若くして死亡。障害のあった兄は「自死」。本人も海上自衛隊退職後は職を転々として困窮し、心底から「統一教会」を恨み返しを考えていた。最近になって背後にある安倍元首相のことを知らされ、応援演説に現れたので、チャンスとあって挙に出た。」と切々と供述した。同時に、被告の伯父(母の兄・弁護士)が、「統一教会の数々の非道さと、母親の統一教会被害の為、極貧状態であった兄弟の生活援助をした。」と語る。この安倍晋三の登場は、祖父岸信介に遡ると考える。岸信介は、東条英機内閣時代商工大臣であり、更に国務大臣となった。敗戦後、岸は当然A級戦犯であったが、朝鮮戦争勃発と共に「マッカーサーの特赦」により巣鴨を出監。自民党に入党する。

一方、戦前から「東洋経済新報」により、「自由主義」「小国主義」を掲げ、戦前には内村鑑三とも親交があり、日中戦争・大東亜戦争には近衛、小磯、東条内閣を非難した。敗戦後、期するところあつてか鳩山一郎の自由民主党に入党した石橋湛山が1956年に自由民主党総裁選で争い、石橋湛山が岸信介を7票差で破り、鳩山内閣に次いで同年12月、72才の時、石橋湛山内閣を組閣。「雇用の促進」「福祉国家の建国」「世界平和の確立」などを掲げた。然し、本当に残念なことに組閣早々病魔に倒れ、岸信介に総理代行委任後、1957年2月総辞職。岸総理代行の初仕事は自民党有志による「靖国神社国家護持法案」の国家提出であった。

首相に就任した岸信介は「日米安保条約」強行でも知られる。また、戦前からの友、右翼の頭領笹川良一と共に戦前、渋谷・南平の豪邸に隣接する本部を構えて、急速に接近する文鮮明の「統一教会」とで緊密な「勝共連合」を結成。これが陰に陽に、その後の保守政治、自由民主党に深い影響をもたらす。安倍晋三は少年時代、南平台で祖父から「権力による保守政治、反共思想を徹底的に教わった」といわれる。

各マスコミは連日、安倍元首相に導かれた自民党の眼を覆いたくなる程の腐敗墮落を伝える。「党点検で179人が旧統一教会と接点があつたという。これには安倍氏本人と細田衆議院議長の名はない。現職大臣も数人いる。

久山療育園も1960年代末、初代の建築費を「船舶振興会笹川良一」から受けたことがある。「幼い重症心身障害児を社会の中心に」を掲げ、「ミットレーベン(共に生きる)」を合言葉に有志が天神その他街頭募金を進め、拠点となるべきセンターの候補地をさがしていたところ、当時の草場久山町長から土地利用の申し出があり、建築資金の補助申請を厚生省に申し出たが、厚生省からは「船舶振興会」の「資金斡旋の紹介」を受けた。さて、「モーターボートレース」の代表者は右翼の頭領笹川良一であり、この「補助申請」を受けべきか否か、それまで中心に参加していた『友の会』のメンバーの中にも参加を中止する者も現れた。然し、川野理事長、遠城寺園長他が集まり「イデオロギーによるのではなく、確かに厚生省からの推奨によって「資金提供」を受けるのであり、重症心身障害児者の今を生きる生命に関わる事柄として建築資金を堂々と受ける。」ことを明らかにした。

ずっと後になるが、久山療育園が発刊した25周年出版誌「重症児(者)の生命の尊厳」に、日本重症児福祉協会理事長江夏安彦氏の「お祝いの言葉」がある。「(前略)久山療育園は昭和51年に設立され、公法人立の重症児施設の先頭に立って、模範的な療育活動と経営を続けて来られました。心から敬意を表する次第であります。その模範である活動の基礎はキリスト教の信仰、人間観に基づくものであると理解しております。久山療育園は神様に最も愛されている重症児を中心に職員、地域の方々と共に家族の方々、の気持ちに十分にくみ取って、大きな家族を造っておられると思っております。それゆえ、すべてに於いて細かいサービスを展開されているのでしよう。久山療育園が掲げていらっしゃる『共に生きる』と言う思想を具体的に日々の生活の中に実現されているのもこうしたところに源があると思います。(後略)「記念挨拶」としても有難い言葉である。

ご協力ありがとうございました

(2022年6月1日～8月31日) 敬称略

【法人】

一般献金

安部聖子、飯田節子、(株)ロジテム九州、栗田昌直、堤秀幸、鳥栖キリスト教会、延岡キリスト教会、野間重美、久山療育園手作品売上、豊前キリスト教会、室蘭バプテテストキリスト教会、恵キリスト教会、山口正夫、山本洋子、匿名

【重症者ホーム】

一般献金

自動販売機売上献金、久山療育園献金箱 (以上62,356円)

【施設】

一般献金

古賀和男、後藤香織、新藤賢恵、立石有梨佳、田中節子・由美、仲田京子、日本基督教団福岡南教会婦人会、原尚美、増井玲子、松尾貴光、吉見末男、吉村敏彦、吉村佐津紀 (以上275,250円)

【施設】

献品

NPO 法人大隅シオン舎(食食用エプロン)、入山秀美(葉書)、大場清子(食食用エプロン)、岡本修二(葉書他)、荻本光雄(スイカ)、お針の会(縫製品)、ガールスカウト福岡県連盟はかた地区(タオル)、草場年子(葉書他)、竹森千代子(タオルケット他)、富野バプテテスト教会(食食用エプロン)、那須みな子(布他)、西一枝(タオルエプロン)、日本バプテテスト連盟瑞穂キリスト教会(タオル)、久山療育園保護者会(介護リフト他)、福田さとみ(葉書)、古後明朗(エプロン他)、舞鶴幼稚園母の会(タオル他)、三島バプテテスト教会女性会(タオル他)、三苦宏美(タオル)、村本モータース(株)(洗濯用粉洗剤)、恵キリスト教会女性会(タオルエプロン)、安井洋子(タオルエプロン) (以上1,007,726円)

献金申込先

- 《郵送》  
社会福祉法人 バプテテスト心身障害児(者)を守る会  
〒811-2501 福岡県糟屋郡久山町大字久原 1869  
久山療育園重症児者医療療育センター内  
☎ (092) 976-2281 (代)
- 《郵便振込》郵便振替【01720-8-24404】  
名義：バプテテスト心身障害者を守る会
- 《銀行振込》西日本シティ銀行久山支店 普 71888  
名義：バプテテスト心身障害児(者)を守る会  
理事長 宮崎信義
- 《ホームページ》  
当センターホームページから、クレジットカードによる寄付が可能となっています。「寄付金のお願い」より開いて下さい。また、郵便局振込用紙もパソコン画面よりダウンロードすることができますので御利用下さい。  
個人、会社共に免税の対象になります。  
メール：hisayama@hisayama-smid.jp

2022年度 クリスマスについて

12月14日予定の「入所クリスマス」、同じく15日予定の「久山療育園クリスマス(燭火礼拝・聖歌隊)」につきましては、現在その実施と開催形式について検討中です。大変恐れ入りますが、ご案内までしばらくお待ちください。尚、通所クリスマスにつきましては、通常の活動の中で曜日ごとに実施する予定です。



訃報

去る6月22日(水)田宮宏介運営協議会委員が召天されました。先生は日本バプテテスト連盟福岡キリスト教会牧師に就任されてからもボランティアとして参加され、病棟では重症心身障害児(者)たちの大好きな音楽のギター演奏やうたを歌ってくださいました。ここに生前の長きにわたるお働きに深謝し、謹んでお知らせ申し上げます。

メモ帳

- 【7月】▽6日・7日 七夕まつり
- ▽21日 全体避難訓練
- ▽22日 誕生会
- ▽29日 託児所避難消火訓練
- 【8月】▽1～5日 通所夏祭り
- ▽5～7日 認定看護師研修会
- ▽11日 ミッドレーベン主催ワークキャンプ(草刈り作業)
- ▽26日 2022年度第2回 理事会
- ▽27日 認定看護研修運営会議
- 【9月】▽2日 誕生会
- ▽3日 園内託児所・こひつじ 発表会
- ▽9～11日 認定看護師研修会
- ▽9日 かないの会(敬老のお祝い)
- ▽16日 避難訓練
- ▽23日 開園祭(感謝礼拝)

職員の異動

- (2022/7/1～9/30) 【採用】
- 7/1付 秋次 香純(歯科衛生士)
- 8/1付 大浦 真妃(保育士)
- 【退職】
- 9/30付 末浦 佐和子(看護師)
- ▽佐伯 マチ子(准看護師)



# ボランティアだより

## 「繋がる形を大切に」

新型コロナウイルスが蔓延してから、あつという間に3年以上の月日が経過しました。

この期間、ボランティアさんによる活動の停止や時間短縮などの中で、ボランティアさんの活動の重要性に再度、気づかせていただくことが出来ました。

その中で、ミットレーベン・ネットワークによる「エプロンプロジェクト」や毎月のように献品等してくださる皆さまの支援に非常に助けられております。

6月には「舞鶴幼稚園 母の会」の皆様が、当センターまでわざわざ足を運ばれて、タオルやエプロン類の献品に來園していただきました。感謝します。

このコロナ禍の中で、当センターのボランティア委員会では昨年度より、3つの事を大きな目標として取り組ませていただいています。

- ① ボランティアの方々とつながりを持ち続ける
- ② ボランティアの方々へこれまでの感謝を伝える
- ③ ボランティア活動の継続・新規活動者の開拓

今、久山療育園で出来ることを、職員一同で考えながら取り組んでいきたいと思っています。

「ボランティア活動」や「ボランティア講習会」等で利用者の方々とも、交流できる日を楽しみにして準備していこうと思います。

(ボランティア委員会 島津洋昭)



### 【専用メールアドレス】

ボランティアに関するお問い合わせの方法として、専用メールを開設しています。「興味があるけど、どんなことするのか心配…」  
「行ってみたいけど、手続きは？」など、いつでもご質問いただけるようになっています。お気軽にご利用ください。

[bora@hisayama-smid.jp](mailto:bora@hisayama-smid.jp)



### 歩 行 器

8月11日(山の日)、ミットレーベン・ネットワークのサマーキャンプは縮小版ではありましたが、草刈り奉仕をしてくださいました。これまで続けていた活動が、3年続きで中止となることへの危機感も同時に感じられ、コロナ禍にあっても可能な範囲で開催し、次の世代に引き継いでいくことの大切さを教えて頂きました。

9月23日(秋分の日)、恒例の開園祭は三密を避けるため、昨年同様に感謝礼拝のみの縮小版で執り行われました。「ふれあう」ことを大切にしてきた久山療育園ですが、新型コロナウイルス蔓延防止のため、参加が限られた状態で開催されました。開園祭がこのまま縮小モードで定着しないように、以前のように、様々な方が参加され「ふれあい」のある開園祭となることを祈るばかりです。

時代は常に変化し、対応も変わっていくことは避けて通れません。IT技術等急速な発達もまた、生活に便利さを与えてくれています。しかし、あまりにも便利すぎてどこか人の営みを超えてしまうような気がする時さえあります。重症児者への思いは、人が生きるスピードに合わせ、歩調を合わせていくことを忘れずにいたい。そして、この「愛の手を」が発行し続けられ、地道な活動ではあるものの、そこに流れている重症児者への思いは、決して絶えることなく、時代を超えて受け継がれていく証となっていくことを噛みしめ、歩みが進められることに感謝致します。

(T・N)

